

令和4年度事業報告

I. 事業概要

令和4年度の近江八幡市シルバー人材センター事業は下記のとおりとなりました。

会員数	591名	前年度比	101.7%
請負金額	151,300,405円	前年度比	91.7%
派遣金額	113,256,687円	前年度比	111.0%
合計金額	264,557,092円	前年度比	99.1%

「自主・自立、共働・共助」の基本理念を念頭に、「会員が就業を通じて健康で生きがいのある生活を実現し、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献すること」を目的としてシルバー事業に取り組みました。

しかし、コロナウイルス感染症の拡大は受注件数の減少等を招き、未だにシルバー事業に影響を与えています。

安全就業関係では、令和3年度の重篤事故発生を受けて、全会員対象に緊急安全適正就業研修会を9回開催しました。

また、センターとして受注可能な剪定就業の内容を厳格に規定し運用しました。その結果、年間の事故件数は5件となり前年を大幅に下回りました。

II. 事業詳細

1. 公益社団法人の円滑な運営

市及び国の補助金については、前年度と同一額を確保していただきました。

請負契約金額公民比は、前年度が28.0対72.0、今年度は27.7対72.3となっており、今後も市に対して新規就業の受注や補助金確保に向けた要望を継続します。

会員優待割引制度（フレンドリーショップ）を積極的に展開したことにより、加盟店は80店舗を超え、新規就業先の開拓にもつながりました。

2. 会員の増強

令和4年度の入会説明会参加者は、前年度の88名より増加し、112名でした。

他にも、ウェブ入会システム、広報はつらつ、ホームページ、市広報紙等を活用する事により、会員数は前年度比で10名増となりました。

会員優待割引制度（フレンドリーショップ）を積極的に展開した事で、退会者の抑制にもつながりました。

3. 普及啓発の推進

市広報紙への掲載、「広報はつらつ」の発行、および「事務局だより」の発行により、会員への情報提供や一般市民に対しての啓発を行いました。

シルバー環境美化活動を令和4年10月に実施し、各地区で積極的に取り組んだ結果、会員100名の参加でした。

また、官庁街や安土総合支所の除草奉仕活動を令和4年12月に実施し、会員138名の参加でした。

これらのボランティア活動は、市民の方々に対してシルバー人材センターに対する理解を深めていただく事を目的としており、引き続き取り組んでまいります。

「シルバー会員フェスティバル」を令和4年10月に、会員・家族および知人対象に開催しました。

4. 安全・適正就業の推進

令和4年度の事故発生件数は、賠償責任事故件数5件、傷害事故件数0件の合計5件となり、前年度を大幅に下回りました。

しかし、賠償責任事故における賠償金額が総額154万円と高額となった事が課題としてあげられます。

また、会員の安全意識を調査する事を目的として、剪定および除草現場を中心に安全パトロールを年間24回実施しました。

その結果を受けて、安全衛生委員会を中心に安全就業規程違反取扱基準を作成しました。

5. 就業技術の向上

剪定班会員を対象とした安全就業に関する講習会を令和4年4月に2回開催しました。

また、剪定班会員の技術向上を目指し、剪定作業講習会を令和4年9月から11月にかけて3回開催しました。

除草班会員の技術向上を目指し、刈払機取扱作業安全衛生教育を令和4年12月に開催しました。

当年度のまとめと次年度の進め方について剪定班会議および除草班会議を令和5年2月から3月にかけて4回開催しました。

6. 部会活動報告

《総務部会》

総務部会は理事会専門部会の各部会長で構成されており、各部会の活動について横断的に話し合う場として協力体制を構築しました。

理事会に提案された案件等について事前に内容を精査検討し、修正を行いながら意見を付して理事会に諮りました。

新型コロナ感染拡大が続く中で、十分な活動が出来ない一年でした。

《広報部会》

広報誌「はつらつ」を2回（令和4年6月、令和5年1月）発行しました。
クイズや脳トレ等を掲載し、興味を持って楽しんでいただけたようです。
シルバー会員フェスティバルでは、同好会活動紹介コーナーを設置し会員の交流の場となりました。

《就業開拓部会》

今年度も、コロナウイルス感染拡大の影響もあり十分な活動が出来ませんでした。
そのような中、チラシによる部会の宣伝やハラスメント講習会を実施しました。

《事業部会》

「感染防止」「安全に活動する」を部会活動の基本として、事業を実施しました。
「シルバー健康ウォーキング」を2回計画しましたが、一般参加者が少なく中止となりました。
会員と一般の方に一緒に参加いただき、センター活動を知ってもらい入会いただくことを目的に「寄せ植え教室」を令和4年12月に開催しました。
その結果2名の方に入会いただきました。
今年度もコロナウイルス感染症の影響は大きく、部会活動は難しい面がありました。
次年度は、安全安心な活動が楽しく出来ることを期待いたします。

《ふれあい福祉部会》

今年度もコロナウイルス感染症拡大の影響もありましたが、令和4年6月に人数制限をしたうえで湖南三山長壽寺住職の法話をお聞きしました。
令和4年10月に開催されたフェスティバルでは、「木工クラフトものづくり体験」を開催し、令和5年2月には近江八幡消防署の一般救命講習を開催しました。

7. 独自事業活動報告

《シルバー朝市》

コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、前年度より実績が減少しました。
シルバー朝市は、令和5年度より独自事業から外れ、同好会「青空朝市の会」として活動します。

《なたね栽培事業》

菜種殻販売は、祭事を中止した団体が相次いだ事もあり1団体60束と減少しましたが、収穫した種を搾油して食用菜種油として販売しました。